

②6 農村コミュニティによる施設の点検及び維持管理活動の実施 【宮崎県 元気な美しい里新名爪】

- 農業水利施設の周知、防災意識の向上を図るため、ため池の点検・維持管理活動を実施。
- また、地域コミュニティの再構築も図っており、ため池を利用したうなぎの掴み取り等の地域イベントを実施。

地域概要

- 対策実施地域は、宮崎市から10kmの北部に位置し、高齢化や混住化が進行。
- ため池を水源とする水田地帯。施設の老朽化が進行している。
- 平成19年に農地や農業水利施設の保全を目的とした地域協議会「元気な美しい里新名爪」（土地改良区、自治会、消防団、地元農家、子ども会より構成）を設立し、施設の保全管理活動を実施。



位置図

(出典：国土地理院HP※一部加筆)



施設の保守管理

(出典：元気な美しい里新名爪提供資料)

対策の背景

防災意識の醸成

- ため池の下流は、宅地や商店があり、地震など自然災害でため池が決壊した場合には、甚大な被害が生じる恐れ(宮崎市は震度7の地震の発生が懸念)。
- ため池の存在や危険性を周知し、地域の防災意識の醸成を図るため、活動実施。

対策の内容・結果

【施設の点検・維持管理】

- 大雨に備え、収穫後のため池の水位を半分とする水管理や排水操作、点検、監視などを活動組織が実施（多面的機能支払交付金を活用）。
- 消防団と連携して池干しによる点検を年に1回実施。

【イベントの開催】

- 地域の子どもの対象にうなぎ等のつかみ取りのイベントを実施。ため池の認識を高める等の効果を図っている。

消防団と連携した施設点検
(出典：九州農政局HP)うなぎのつかみ取り
(出典：元気な美しい里新名爪提供資料)

- 地域住民へのため池の存在や防災意識の向上につながっている。
- 活動組織では、防災対策の他、地域コミュニティの再構築を目的に、花の種まきなど地域活動を積極的に実施している。

コスモス畑の種まき
(出典：九州農政局HP)